

6月の産地情報

輪菊	白菊	愛知、静岡産中心。例年並みに潤沢な入荷となる見込み。夏系品種に切り替わり「精の一世」が主体となる。
	黄・赤菊	静岡、愛知産中心の入荷。夏系品種「精の光彩」が主体となる。 生育は順調だが出荷産地が少ない時期の為、不安定な入荷が予想される。
小菊		静岡、沖縄、福島産他。産地の切り替わり時期と年々作付け量が減少している為、不安定な入荷が予想される。
SP・ディスプレイバッド		周年産地中心の入荷。徐々に品種が夏品種に切り替わってくる。 今の所は順調だが、今後の天候次第では品種の切り替え時期で、端境になる可能性あり。 ディスプレイバッドは愛知、静岡産中心の入荷。青森産も出荷開始する。
バラ		各産地潤沢な入荷の見込み。上旬頃入荷が増えるが、中下旬以降は気温の影響により等級別で入荷の比率が変わってくる見込み。
カーネーション		6月上旬より北海道、上旬～中旬にかけて長野より出荷始まる見込み。数量は例年よりやや少な目の見込み。
ガーベラ		各産地本格的な改植となるので数量は減少傾向となってくる。
かすみ草		和歌山、熊本等、暖地は切上がり。北海道は前半、福島は中盤より出荷となる見込み。 一部、雪害による被害もあり。例年のような大きい山は無さそうな様子。
リシアンサス		昨年並みの入荷量。関東中心の入荷ほか、福島県産も増加してくる見込み。
ユリ	オリエンタル	西南暖地が出荷終了し、新潟県平場の本格出荷と埼玉県中心の入荷となる。 生育状況は例年並みで、数量はやや多めとなる見込み。
	スカシ・鉄砲	埼玉、高知、鹿児島産中心の入荷で、入荷は不安定で数量は例年並みでやや少な目となる見込み。
洋ラン類		オンシジュームに関しては台湾産と国産季咲を迎え少しずつ入荷増える。カトレア、ファレノは月末に向けて入荷減の見込み。 シンビジュームは国産終了。デンファレは下旬より徐々に数量回復予定。
季節もの		シャクヤクは上旬に長野県と新潟県がピークを迎える。数量は例年並みの見込み。ドーダンツツジ芽吹きものの生産量減。 福島の土っ子田島や甘楽富岡での新規草花の取り組みもあり今後目新しい品目も出てくる。